



松帆銅鐸が一般公開

南あわじ市で出土した「松帆銅鐸^{どうたく}」の一般公開が、11月12日から玉青館で始まりました。

松帆銅鐸は平成27年、市内の石材製造販売会社の砂山から全7点が見つかり、「国宝級の史料」として注目されました。このたび、調査などが完了した銅鐸2点と舌^{ぜつ}7本が常設展示されることとなりました。残りの5点は令和4年度までに南あわじ市に戻ってくる予定です。

銅鐸の発見者である西田達^{とおる}さんは「まさかこんな大発見になるとは思っていなかった。ぜひ多くの人に見てほしい」と話していました。